

# 平成 20 年度環境保全経費概算要求額について

平成 19 年 10 月 12 日（金）  
 電話番号：03-3581-3351（代表）  
 直 通：03-5521-8328  
 総合環境政策局環境計画課企画調査室  
 室 長：細野 宏（6227）  
 室 員：並木光行（6250）  
 担 当：中西・加地（6281）

環境省は、今般、関係府省の平成20年度環境保全経費概算要求額を取りまとめました。

平成20年度要求・要望額の総額は、2兆6,382億円で、平成19年度の当該額（当初予算）に比べ4,052億円、18.1%の増となっています。

## 1 環境保全経費とは

環境保全経費とは、政府における地球環境の保全、公害の防止並びに自然環境の保護及び整備に関する経費を総称したものです。

環境保全経費は、複数の関係府省において取り組まれている環境保全に係る施策が、政府全体として効率的、効果的に展開されるよう、環境省設置法第4条第3号の規定に基づき環境省が見積りの方針の調整を行い、取りまとめているものです。

## 2 平成 20 年度環境保全経費概算要求額の総額

平成 20 年度要求・要望の総額：2兆6,382億円

上記に係る平成 19 年度当初予算額 2兆2,330 億円と比較すると、

4,052 億円、18.1%の増

（注）上記に係る平成 19 年度当初予算額は、既に公表した“平成 19 年度環境保全経費”当初予算額、2兆 949 億円と異なっているが、これは、今般、京都議定書目標達成計画予算等と整合を図り、原子力発電所立地促進等に係る経費を新たに環境保全経費に含めることとしたことによるものである。従来ベースでの平成 20 年度要求・要望の総額は、2兆 4,834 億円であり、“平成 19 年度環境保全経費”当初予算額と比して 3,884 億円、18.5%の増となる。

## 3 環境保全経費概算要求額の内訳

	20 年度（上記に係る平成 19 年度当初予算額）
（1）地球環境の保全・・・・・・・・・・・・・・・・	7,751 億円（6,292 億円）
* 従来ベースでの要求・要望額での比較・・・・・・・・	6,202 億円（4,912 億円）
森林整備、エネルギー関係（省エネ、新エネ、原子力関係含む。）、	

高度道路交通システム（ITS）の推進、地球環境に関する観測等  
＜農林水産省、経済産業省、国土交通省、文部科学省、環境省等＞

（２）大気環境の保全・・・・・・・・・・・・・・・・ 3,259 億円（ 2,797 億円）  
沿道環境改善、交通安全施設整備、低公害車普及推進・技術開発等  
＜国土交通省、警察庁、経済産業省、環境省等＞

（３）水環境、土壌環境、地盤環境の保全  
・・・・・・・・・・・・・・・・ 9,503 億円（ 8,195 億円）  
下水道整備、排水施設整備、水系環境整備等  
＜国土交通省、農林水産省、環境省等＞

（４）廃棄物・リサイクル対策・・・・・・・・・・・・ 1,536 億円（ 1,321 億円）  
廃棄物処理・再生利用施設整備、バイオマス利活用等  
＜環境省、農林水産省、国土交通省等＞

（５）化学物質対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 110 億円（ 98 億円）  
化学物質リスク研究・調査、化学物質評価管理等  
＜厚生労働省、環境省、経済産業省等＞

（６）自然環境の保全と自然とのふれあいの推進  
・・・・・・・・・・・・・・・・ 3,364 億円（ 2,851 億円）  
都市公園・自然公園整備、治山事業、自然環境保全等  
＜国土交通省、農林水産省、文部科学省、環境省等＞

（７）各種施策の基盤となる施策等・・・・・・・・ 860 億円（ 776 億円）  
環境技術開発、流通・物流効率化等  
＜環境省、経済産業省等＞

#### 4 環境保全上意義の高い新規事項の例

関係府省の新規要求予算のうち、環境保全の観点から特に高い効果が期待できると考えられる施策の例を「環境保全上意義の高い新規事項の例」として取りまとめた。

#### 《参考資料》

##### ○環境保全経費

- ・ 平成 20 環境保全経費概算要求額（府省別・事項別一覧）
- ・ 平成 20 環境保全経費における環境保全上意義の高い新規事項の例

平成20年度 環境保全経費概算要求額 (府省別・事項別一覧)

(単位:百万円)

	地球環境 の保全	大気環境 の保全	水環境、 土壌環 境、地盤 環境の保 全	廃棄物・リ サイクル対 策	化学物質 対策	自然環境 の保全と 自然との ふれあひ の推進	各種施策 の基盤とな る施策	合 計
内閣府	1,725	17,923	16,700	4,517	0	13,041	159	54,065
総務省	562	30	0	0	0	0	591	1,183
法務省	0	584	0	0	0	0	0	584
外務省	6,828	0	0	0	0	0	0	6,828
財務省	232	0	0	0	0	0	0	232
文部科学省	70,212	0	9,997	0	0	16,520	982	97,712
厚生労働省	2,203	0	554	0	2,672	0	0	5,428
農林水産省	196,551	0	85,653	19,949	2,146	144,543	14,071	462,913
経済産業省	340,920	5,082	2,696	1,661	1,266	171	3,307	355,102
国土交通省	97,519	233,465	831,406	14,609	0	141,527	399	1,318,925
環境省	58,309	2,720	2,773	112,842	4,872	20,479	66,503	268,498
防衛省	0	66,074	548	41	0	72	0	66,736
合 計	775,061	325,878	950,327	153,619	10,955	336,354	86,012	2,638,205

注) 端数処理(四捨五入)の関係で、合計が一致しない場合がある。

平成20年度環境保全経費における環境保全上意義の高い新規事項の例

(単位:百万円)

施策名	概要	概算 要求額	府省名
住宅・建築物『省CO <sub>2</sub> 推進モデル事業』	家庭部門・業務部門のCO <sub>2</sub> 排出量が増加傾向にあるなか、住宅・建築物における省CO <sub>2</sub> 対策を強力に推進するため、より実効的な規制の導入の検討とあわせて、先進的かつ効果的な省CO <sub>2</sub> 技術が導入された先進的な住宅・建築プロジェクトを推進する民間事業者に対する助成制度を創設する。	5,000	国土交通省
ソフトセルロース利活用技術確立事業	食料供給と競合しない稲わら等のソフトセルロースを原料として、収集・運搬からバイオ燃料に利用するまでの技術を確立する。	4,062	農林水産省
高齢級森林整備促進特別対策事業	高齢級林分の間伐を増大させるため、間伐実施者が民間資金を借り入れる際に、事業リスクを軽減する利子補給等の助成を実施する。	1,000	農林水産省
海洋資源の利用促進に向けた基盤ツール開発プログラム	海に囲まれた我が国が新たな海洋立国の実現を図るため、我が国周辺海域で喫緊の課題となっている地球温暖化による海洋環境の変化が将来の海洋生物資源に与える影響の評価・予測など、海洋資源の利用促進・保全に向けた基盤ツールの研究開発を行う。	500	文部科学省
低炭素社会関係予算（地球環境研究総合推進費〔競争的資金〕の一部）	CO <sub>2</sub> 排出量の少ないまちづくり、交通システム形成、自然共生等の多様な視点で今後必要な取組についてのシミュレーション等による政策研究を行い、低炭素社会の姿をわかりやすく提示する。	500	環境省
地球温暖化対策のための大気環境観測機能の強化	南鳥島気象観測所（東京都小笠原村）及び沖縄気象台（那覇市）に高性能の温室効果ガス観測装置等を整備し、高精度・長期連続観測を実現し、大気環境変化を監視するとともに、地球温暖化予測の不確実性の低減、効果的・効率的な地球温暖化対策の実施、ポスト京都議定書の検討に貢献する。	167	国土交通省
環境負荷低減国民運動支援ビジネス推進事業	「1人1日1kg」の温室効果ガス削減をモットーとした地域ぐるみの国民運動を促進するため、企業・個人に向けて温室効果ガスの排出削減につながる取組への助言や排出削減の普及啓発などを行うビジネスに対して支援を行う。	150	経済産業省
廃棄物系バイオマス次世代利活用推進事業	大都市部、中都市部、農村部等の地域特性に着目しつつ、各種廃棄物系バイオマスの発生抑制、利活用手法について飼料化、メタン化等の中から有効なパターンを選び出し、分別方法、収集運搬体制も含め、モデル地区において実証・評価を行う。	400	環境省